

平成29年度 市政懇話会を開催しました。

「市政懇話会」を市内6会場で開催し、187人の市民の皆さんに参加いただきました。

会では、地区ごとに提出されたテーマへの回答のほか、多くのご意見・ご要望等をうかがいました。庁内において検討し、今後のまちづくりに活かしていきます。

今回は、地区のテーマ内容に対する市の考え方などの一部を紹介します。詳しい内容については市ホームページをご覧ください。

なお、市の考え方については、会の開催時点のものです。

(政策課 ☎ 33-5634)



地区名	日時	人数
生福	7月24日	41人
大原	7月27日	52人
荒川	8月1日	30人
旭	8月9日	18人
中央	2月1日	29人
湊	2月13日	17人
合計		187人

地区テーマに対する市の考え方

市マイクロバスの貸出について《生福地区》

質問の内容

青少年育成事業で、裁判所・NHK等の見学を計画している。この交通手段として、市マイクロバスの借用をお願いしたが、市主催行事でないため貸出ができないとの回答であった。この制限を撤廃してほしい。

市の考え方

公用車の貸出については、市内の団体等が道路・河川等の美化、清掃活動など自主的な公益活動等を行う共生・協働のまちづくりを推進する場合に、市が所有するトラックや広報設備付の庁用車などを貸し出しています。

行政バスは行政運営の向上と効率化を図るため運行していることから、市の行政上の用務でなければ使用できないこととしてます。また、行政上の用務以外の利用は、道路運送法に抵触する恐れがあることなどから、地区行事等への行政バスの貸出は難しいと考えていますので、ご理解をお願いします。

なお、まちづくり協議会において実施する研修の交通手段の確保（バス借上げ）については、今後とも地区まちづくり計画事業補助金のソフト事業をご活用ください。



鳥獣保護区の見直し、有害鳥獣被害対策について《湊地区》

質問の内容

イノシシ、シカの被害に苦しんでいる。鳥獣保護区のため自己防護をしているが対応しきれない。鳥獣保護区域の見直しはできないものか。

市の考え方

鳥獣保護区については、県が策定する「鳥獣保護管理事業計画」で指定されており、現在は第12次計画の期間で次の計画見直しは平成34年度です。区域の変更は県との協議が必要で、県が認めれば変更が可能となります。

鳥獣保護区では、鳥獣の捕獲は一切できないと思われがちですが、鳥獣保護区内であっても農作物等に被害を及ぼす有害鳥獣については、県や市の許可があれば捕獲駆除できます。本市では猟期ではない4月から11月は、継続して市内全域に捕獲指示を出しており、猟期でも農作物等に被害を及ぼすような有害鳥獣が出れば、猟友会に依頼して駆除を行っています。

鳥獣保護区でも区域外においても、捕獲や駆除は可能ですので、農政課へご一報いただければ対応します。また、鳥獣被害防止策として、電気柵の設置補助事業も実施しておりますのでご活用ください。

国道3号の歩道拡幅、ガードレール、段差の改善について《旭地区》

質問の内容

芹ケ野郵便局からいちき串木野市街地方面の国道3号の歩道の状態が良くないため、高齢者等が通行する際（歩き・電動ミニカー）に支障がでている。ここは小学生の通学路にもなっていることから、ガードレールの設置及び路面と歩道との段差の解消を要望したい。管轄の国等へ要望・要請をしてほしい。

市の考え方

国道3号の芹ケ野郵便局からいちき串木野市街地方面に向かう歩道の幅員は、1m～1.8mと狭く、特に通学路の野下口金山蔵入口付近までの1.5km間のうち、車両用防護柵は芹ケ野郵便局付近と金山第一橋付近に設置されており、残りは反射鏡での対応となっています。

平成29年7月4日に行われた第1回通学路安全推進会議で、国は、「車両用防護柵設置予定延長320mのうち、平成28年度に下り車線金山第一橋付近で36.9mが設置され、残りについても継続して設置予定」と報告しています。

また、車道は、宅地乗入部の切下げによる段差で歩行や電動バイクでの通行に支障があり、歩道幅員が狭い場所では防護柵を設置すると離合が困難になる状況もあるため、国に段差解消や拡幅に向けて要望していきます。

歩道整備について《中央地区》

質問の内容

県の事業で串木野駅下から新港大橋に至る県道沿いの歩道に滑り止め施工がなされたが、曙町及び春日町の一部の区間で未施工箇所がある。早急に滑り止め施工をお願いしたい。

市の考え方

主要地方道串木野港線の歩道は、平成10年頃にレンガ舗装により整備されましたが、雨の日になると滑りやすく歩行者が転倒する恐れがあるとの事から、平成27年度に県に対して滑り止め舗装の要望を行い、平成27年度から串木野港線の病院付近や勾配のある箇所の歩道両側約1km区間において滑り止め舗装が施工され、平成28年度は北浜町から本浜町と春日町の一部が施工されています。

残りの曙町及び春日町の一部の歩道については、平成30年3月に工事発注があり、整備をしております。

◆平成30年度も市政懇話会を開催予定です。

まちの話題



「市来大迫家住宅」 国登録有形文化財指定



市来大迫家住宅は湊町にあり、大正5年（1916）に建築されました。昭和16年（1941）には、竹田宮恒徳王殿下もご宿泊された由緒ある建造物で、地域を代表する歴史的な建造物として、3月27日、国の登録有形文化財に指定されました。

大迫家住宅は個人住宅のため、自由な見学はできませんのでご注意ください。



クイズ知っちゃっけ？

問い： いちき串木野市は、昔から遠洋マグロ漁業で栄え、マグロ漁船の保有船籍も日本一を誇ります。

マグロには様々な種類があり、脂が乗ったクロマグロは最も高級とされ、「マグロの王様」といわれています。

さて、このクロマグロと肩を並べ高級といわれる、昨年本市でも初めて水揚げされたマグロは、次のうちどれでしょうか。

- ①キハダマグロ
- ②ミナミマグロ
- ③メバチマグロ



答えはこの広報紙のどこかにあります。



羽島土川の風景楽しむきっかけに写真展示



くしき野白浜温泉の入り口横に、羽島土川地区の風景写真が飾られた小さなギャラリー「Bicycle Life」があります。温泉支配人の富永成人さんが「田舎の何気ない風景を楽しんでほしい」と今年2月頃から展示しているものです。

写真撮影が趣味の友人と一緒に羽島や土川を巡り、稲刈りが終わった後の田んぼや、夕焼けをバックにした風車、土川港などを撮影した12点が飾られ、ギャラリーの真ん中には富永さん自身が乗っていた自転車も飾られています。

富永さん自身は、今は忙しくて自転車に乗る時間がとれないとのことですが、「羽島土川は海も山もあって気持ちいいところ。写真を見て、自転車やバイクで巡るコースに入れてもらえれば」とお勧めしています。

中央地区の製塩の史跡を学ぶ



東塩田町・西塩田町一帯は、明治時代まで製塩業が行われており、塩田第二公園には、当時の様子を伝える記念の碑が設置してあります。

中央地区まちづくり協議会では、地域の歴史を伝える史跡として、この碑を洗浄し、碑が建立された内容などを記した看板を設置しました。

3月25日に、東塩田町の親子を対象に、地域の歴史を説明する会を開催し、住んでいる土地が開発によって変化した様子や、当時の人の労苦を偲びました。

ころばん体操を知事が視察



ころばん体操に早くから取り組む島平上公民館へ知事が視察に来ました。知事は住民と一緒にころばん体操を体験し、住民と対談を行いました。

ころばん体操は、高齢者の体力維持や改善だけでなく、交流や生きがいの場にもなるなど、地域力アップにも役立っている公民館の活動です。

対談後、知事は、「健康寿命を延ばし、高齢者の生きがいを支援していきたい」と話しました。

最初は緊張気味だった住民の皆さんも知事との対談ではにこやかに、終始和やかな雰囲気で行われ、知事は、「みなさんに元気をもらいました。健康で長生きしてください」と激励しました。

この模様は4月21日MBCふるさと鹿児島（11:15～11:30）で放送予定とのことです。

「開洋丸」鎮魂の碑に献花



串木野漁港から甑島へ向かった瀬渡船「開洋丸」が転覆し、乗船していた27名全員が死亡・行方不明となってから、今年の3月で33年目を迎えました。

3月15日、瀬渡船の関係者でつくる西薩遊漁船安全運航連絡会や海上保安部職員などが犠牲者の冥福を祈る鎮魂の碑の周辺を清掃し、献花しました。

この日は弟を事故で亡くした二町一成さんも参加。事故が起きた3月31日には毎年来て花を碑に捧げていたそうです。二町さんは「あってはならない事故だった。海は怖い。海のレジャーは知識を持ち十分注意してほしい」と話しました。

ゆったり時間「マママルシェ」開催



4月8日、旭町のまちなかサロンで、地域の女性たちが主役となり、「マママルシェ」を初めて開催しました。店内は地元を中心に18店が手作りアクセサリー、雑貨などトロボックスでの出店もあり、工作や占いなど楽しめる空間の中で、多くの家族連れがゆったりとした時間を過ごしました。

このマルシェは、地域おこし協力隊の亀岡美咲さんが企画したもので、「このマルシェから、賑わいの流れができれば」とのことであり、今後も定期的に開催していく予定とのことです。

本浦地区まちづくり協議会に苗木の寄贈



4月2日、本浦地区まちづくり協議会に対し、九州電力(株)鹿児島支社から果樹の苗木が贈られました。

当初、九電は本浦地区と協同で清掃活動やイベントを計画していましたが、開催予定日に荒天となったために中止となり、御倉山公園をにぎわいの空間にしたいという協議会の趣旨に賛同した九電が、レモンの苗木10本を贈ったものです。

協議会の下夷憲一会長は、「たいへんありがたい。実をつけるのが待ち遠しい。本浦地区みんなでおいしくいただきたい」と成長を楽しみにしていました。

さくら舞うさくら祭り



4月1日、観音ヶ池市民の森で、さくら祭りが開催されました。天候にも恵まれ、多くの方が花見を楽しんだり、ステージの太鼓などを楽しんだりしていました。

会場に設けられた野点を楽しんでいた日置市の久保美智代さんは、「初めてここに来た。見頃の時期を少し過ぎていたのは残念だけど、花びらが散る様子もきれい。来年もまた来たい」と笑顔で話しました。

徐福花冠祭



4月8日生福地区で、秦の始皇帝の命を受け、日本に不老不死の仙薬を探しに来たという伝説のある徐福に冠を捧げる徐福花冠祭が開催されました。

7日の前夜祭では、本市観光大使の田中星児さんのミニコンサート、湯神楽などが行われました。

8日の本祭は、保育園児から大人まで200人以上の参加者が交替で3トンを超える地車の綱を引き、手打ちをして家内安全を祈りながら、生福地区をゆっくりと練り歩きました。

多目的グラウンドでは、生福市、フリーマーケット、地元芸能などがあり、終日賑わいました。

春呼ぶ 二つの祭り

ガウンガウン祭（3月18日深田神社）

地元子ども達が、クワの形をした木の枝で田植の準備をするテチョの足を引っ掛け転ばせます。テチョ（父親）や太郎、次郎、牛などを演じる人は毎年異なり、その時話題になっていることを劇に盛り込むそうです。今年はピョンチャンオリンピック女子カーリング競技で話題となった「そだねー」が掛け合いの中に出てきて、観客の笑いを誘っていました。



太郎太郎祭（3月25日羽島崎神社）

太郎太郎祭は豊作と豊漁、そして「五つ祝い」という数えで5つになる子どもの健やかな成長と一緒に願う珍しい祭りです。この日は7人が「田打ち」と「舟持ち」に参加しました。「舟持ち」に参加した池満史穂君と母親の遥香さんは、「一生に一度しかないの思い出になる。健康に育ててほしい」と我が子の健やかな成長を願いました。



100歳おめでとうございます

熊谷ミカさんが3月8日に、また、濱田フミ枝さんが3月10日に、それぞれ100歳の誕生日を迎えました。お二人には、市からお祝いの生花や記念品が贈られました。

本市の100歳以上の方は、4月12日現在で33名です。いつまでもお元気で長生きしてください。



熊谷ミカさん（汐見町）



濱田フミ枝さん（戸崎）

市勢発展に尽力 叙勲受章



濱本健一さん(横須)が旭日双光章を受章しました。濱本さんは昭和58年5月から4期16年の長きにわたり、串木野市議会議員として、市政に参画しました。この間、教育民生委員会委員長や決算審査特別委員会委員長などを歴任し、市勢の発展に寄与しました。おめでとうございます。



見事な初期消火 光里苑に感謝状



消防本部は2月に発生した火災の初期消火活動に高齢者多機能福祉施設「光里苑」の職員8名が協力したとして感謝状を贈りました。

光里苑では年2回の防災訓練では必ず消火器の取扱い訓練も実施しているということで、通報した元吉章郎さんは「訓練の大切さを痛感した」と話しました。

羽島を元気に「白浜マルシェ」開催



3月12日、くしき野白浜温泉の駐車場で、羽島地域の飲食店3軒が中心となり結成した「羽島じゃがいもの会」が、白浜マルシェを初めて開催しました。

主催者の一人、恵良利律子さんは「お客さんにも喜ばれた。次の自信につながる」と手ごたえを感じた様子。会場からの眺めも売りとのことで、月1回は開催していく予定とのことです。

からいも交流生 来訪



第37回からいも交流・春の留学生3人(ベトナム1名・台湾2名)が本市に滞在しました。

留学生3人は3月18日から25日の8日間、市内の家庭にホームステイを行いながら、農業体験や学校訪問・市内見学などを行い、多くの市民と交流しました。

第7回 串木野地域弓道大会



●中学生の部

優勝 福山 あい 2位 古城ころこ 3位 坂元ひかり

●高校生の部

優勝 平田 青空 2位 中村 すず 3位 岩元あずさ

●一般の部

優勝 橋口 聖矢 2位 橋口 誠 3位 橋元 進

第27回

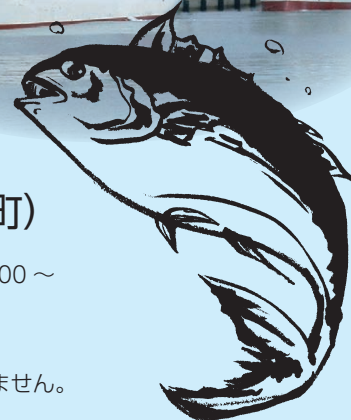
串木野まぐろ フェスティバル

まぐろづくしの楽しいイベントが
盛りだくさんです。是非ご来場ください。

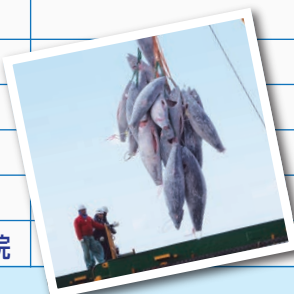
4月29日(日)・30日(月)

9:00 ~ 16:30 串木野漁港外港特設会場 (まぐろ本町)

- 天然まぐろ握り寿司の振る舞い 両日とも先着 1,000 名様 9:00 ~
- 食の広場 まぐろラーメン、まぐろ舵取り丼、まぐろ丼、特製漁師めし (初)
- いちき串木野特産品コーナー ※今回、活魚つかみ取りはありません。



イベント	4/29 (日)	4/30 (月)
冷凍まぐろ解体ショー&即売	10:00 ~、15:30 ~	
まぐろかぶと焼き振る舞い	12:00 ~無くなり次第終了	
NEW 海鮮プロレス	11:00 ~、13:30 ~	
冷凍まぐろ解凍・刺身造り方教室	15:00 ~	
まぐろ重量当てクイズ	9:00 ~ 15:00	
巡視船「とから」見学会	9:30 ~ 15:30	
まぐろ展示館	9:00 ~ 16:30	
お楽しみ大抽選会	9:00 ~ 16:00	
マーメイド体験	9:00 ~ 16:30	
水咲えり歌謡ショー	14:00 ~	12:00 ~
相撲甚句	11:30 ~	12:30 ~
観光PRタイム	13:00 ~	13:30 ~
神村学園太鼓部演奏	9:00 ~	
セーラー☆スターズ チアリーディングショー	9:30 ~	
ジミー入枝とザ・キングタウンズ	10:30 ~、15:00 ~	
式典 (優良漁船員表彰等)	12:00 ~	
木花流舞踊	13:30 ~	
ゆうこジャズダンスショー	15:30 ~	
G & B Live	16:00 ~	
串木野中学校吹奏楽部演奏		9:00 ~
くしきの森のこども園大漁踊り		9:30 ~
NEW 西田あい歌謡ショー		10:30 ~、14:30 ~
串木野さのさ踊り		11:30 ~
創作太鼓衆 琉苺華		14:00 ~
Dance Performance Max Generation 伊集院		15:00 ~



【問合せ】 鹿児島まぐろ船主協会 ☎32-2181 (串木野まぐろフェスティバル実行委員会事務局)



第11回

いちきウオーキング大会

～白砂青松コース～



初夏の浜辺でマイナスイオンを浴びてみませんか

平成30年 **5月27日(日)**

参加料無料! 当日参加もOK!

①3kmコース ②5kmコース

- 【集合出発場所】市来海岸 (市来中学校西側)
- 【駐車場】市来中学校校庭 (駐車台数に限りがあります)
- 【受付】8:30から
- 【開会式】9:00から (9:20スタート予定)
- 【コース】①3kmコース ②5kmコース
- 【参加資格】下記の誓約を承諾し、健康な方ならどなたでも参加できます。
(小学4年生以下は保護者同伴、5年生から中学生のみの参加は保護者の承諾が必要です)
- 【参加料】無料
- 【携行品】飲物・タオル・帽子など各自でご準備ください。
- 【申込・問合せ】いちき串木野市教育委員会 市民スポーツ課 ☎32-3111
串木野庁舎1階・総合体育館・市来体育館・串木野体育センター
B & G海洋センターでも申込書の提出ができます。
ホームページからの電子申込みも可能です。

送迎バス利用時刻

串木野庁舎 発 8:10

串木野駅 発 8:20

市来駅 発 8:35

※要予約・途中下車はできません。



**【事前申込締切】5月18日(金)まで
(当日受付もできます)**

主催：いちき串木野市 いちき串木野市教育委員会
主管：いちきウオーキング大会実行委員会
後援：いちき串木野市体育協会 南日本新聞社

----- 切り取り線 -----

明治維新150周年記念 第11回 いちきウオーキング大会～白砂青松コース～参加申込書

氏名	年齢	性別	住所(市町村名)	保護者印	電話番号	参加コース	バス利用
						3km・5km	串木野庁舎・串木野駅・市来駅
						3km・5km	串木野庁舎・串木野駅・市来駅
						3km・5km	串木野庁舎・串木野駅・市来駅
						3km・5km	串木野庁舎・串木野駅・市来駅
						3km・5km	串木野庁舎・串木野駅・市来駅

4年生以下は保護者同伴とし、5年生から中学生のみの参加は保護者の承諾印が必要です。

誓約書

私事、このたび本大会に参加するにあたり、大会参加に伴い発生した事故及び貴重品の管理等については、自己の責任とし主催者が加入する一日保険の対象外のことについては、主催者に対して一切迷惑をかけることを誓います。また、大会当日は、事故の無いように安全を第一とし、自分の健康・安全に十分留意しながら先導者に従い歩くことを誓います。

平成 年 月 日

上記誓約書に参加者全員同意します。

申込代表者氏名

印